

環境方針

生活協同組合パルシステム埼玉は、理念・ビジョンに基づき、暮らしや社会の問題を解決する事業を地域の中に広げ、食料品・日用品を中心とした商品の供給、及び共済、葬祭などのサービスを組合員等に提供しています。

私たちは、これらの事業活動による環境影響の大きな項目について、技術的かつ経済的に可能な限りの範囲で、環境目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、環境負荷の低減・汚染の予防と環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。

また、環境関連の法律、規制、条例、パルシステム埼玉が受け入れを決めたその他の要求事項を遵守します。

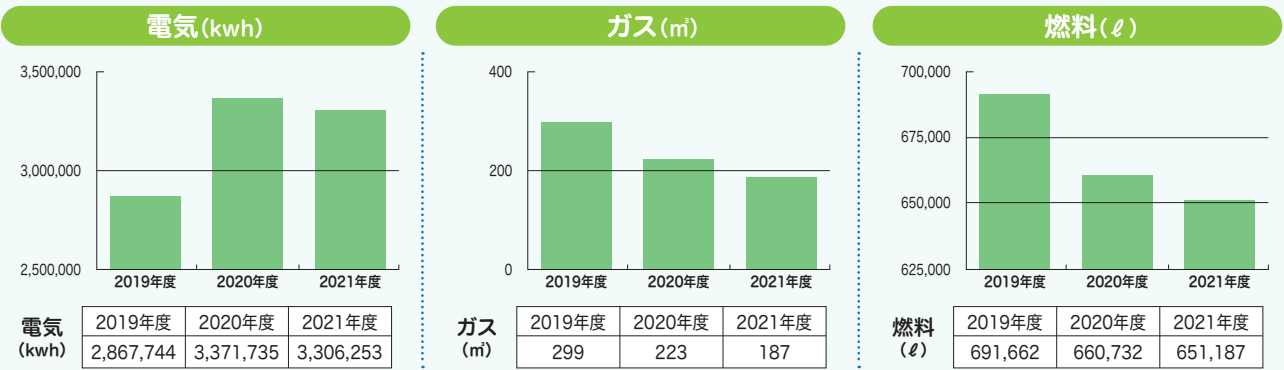
- ① 事業所における節電や環境配慮設備の導入により、CO₂の排出量削減に取り組めます。
- ② 環境に配慮した商品の普及とリユース・リサイクル品の回収に組合員とともに取り組めます。
- ③ 一人ひとりがくらしの中で身近にできる環境活動を応援します。
- ④ 産直生産者との交流を主軸に、環境保全型農業をすすめます。
- ⑤ 地産地消の視点から、県内産地の商品の取り扱いを増やします。
- ⑥ 再生可能エネルギーの拡大に取り組めます。

①パルシステム事業におけるCO₂ 排出量

	2019年度	2020年度	2021年度
電気由来	348,556kg	1,235,831kg	346,609kg
ガス由来	1,049kg	1,140kg	1,751kg
燃料由来	1,422,898kg	1,406,812kg	1,407,169kg
排出量計	1,772,503kg	2,643,784kg	1,755,529kg

・2020年度から組合員活動施設「ばる★てらす」のCO₂排出量を統合しています。

②電気・ガス・燃料使用量



③リユース・リサイクル回収状況

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2020年比
米袋	5,615	5,905	6,047	5,277	4,460	84.5%
注文用紙	47,642	46,040	45,949	41,108	36,011	87.6%
商品カタログ	1,905,697	1,998,127	1,928,903	1,666,645	1,788,223	107.3%
資源プラスチック	43,106	42,896	41,487	43,348	47,712	110.1%
紙パック	71,336	68,452	62,828	62,921	54,325	86.3%
たまごパック	85,475	83,987	80,227	87,099	76,257	87.6%
ペットボトル	16,445	20,303	22,270	30,150	33,778	112.0%
ABパック・ヨーグルトカップ	11,439	11,639	12,377	12,089	11,707	96.8%
お料理セットトレイ	5,270	8,440	10,937	10,951	10,742	98.1%
リユースびん	315,558	306,749	309,506	339,996	324,160	95.3%

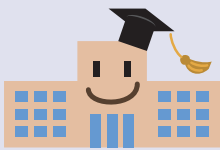
単位:kg(びんは本数)



人材育成

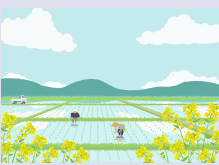


教育プログラム



パルカレッジ

教育研修カリキュラム「パルカレッジ」に延べ120人が参加し、「商品知識」や「生協の役割」など階層ごとに必要な知識を習得しました。



産地研修

毎年県内産地の米作り体験や遠隔産地の田んぼ交流などの研修を実施しています。



キャリア形成教育

資格取得促進・ジョブローテーション・職員提案制度などを体系化しキャリア形成教育と位置付け、組織の活性化につなげていきます。

多様な働き方実践企業

従業員の仕事と子育て等の両立を支援し、男女ともにいきいきと働ける職場環境づくりをしている組織として「埼玉県多様な働き方実践企業」に認定されています。



(2020年4月認定)

埼玉県健康経営実践事業所に認定



(2020年10月認定)

事業所における従業員等の健康に配慮した経営を促進している活動が認められ、健康経営に取り組む事業所・団体として「埼玉県健康経営実践事業所」に認定されています。

女性の活躍推進

すべての職員が活躍できる職場づくりを目指し、自主行動計画を策定しています。新卒採用を積極的に進め、正職員の女性比率の向上に取り組んでいます。

女性正職員比率

2019 年度	2020 年度	2021 年度
17.5 %	15.6 %	14.6 %

障がい者雇用

障がい者雇用率

2019 年度	2020 年度	2021 年度
3.41 %	2.57 %	2.45 %



内部統制

コンプライアンスについて

「コンプライアンス」とは、「法令の主旨、精神、企業倫理に従った行動」を指します。組合員数20万人を超える生活協同組合として、コンプライアンス体制の構築は社会的責任のひとつです。パルシステム埼玉では2014年2月に、コンプライアンス規程を制定し、全役職員が業務遂行にあたり、行動規範（各職員が常時携帯）に従い、関係法令、定款、規程等を遵守し日常業務を効率的かつ効果的に遂行することを明記しています。

コンプライアンスに対する違反行為は、社会的な影響が大きいため、日常のリスク回避行動が、欠かせません。各部門、事業所においては、月次点検を通じて、自らの職場におけるコンプライアンス状況を振り返る取り組みを行なっています。さらに、役職員に対する関連教育の実施、年1回の総合内部監査、全職員を対象にした関連アンケート、職員への聞き取り調査などを通じて、コンプライアンス体制の維持・向上に努めています。

情報セキュリティ及び個人情報保護について

パルシステム連合会では、パルシステム埼玉をはじめとする会員生協の情報資産の管理・運用を含めた総合的な情報セキュリティ体制を構築しています。その中で「パルシステム連合会・個人情報保護・情報セキュリティ委員会」を会員団体で構成しています。この委員会では個人情報及び情報システムに関する事故を未然に防止する対策を講じていると同時に運用マニュアルの監修も行なっています。当組合では、「個人情報保護方針」及び諸規程を定め、役職員に周知するとともに、関連教育の実施等を通じて、適切な個人情報の保護管理に努めています。

リスク管理について

当組合では、当組合の事業・活動におけるリスクを全て洗い出し、これらが顕在化しないよう、また顕在化した際でも被害を最小限にとどめるために、さまざまな規程やこれらに基づいて「危機管理委員会」や「内部統制委員会」を設置・開催し、さらには業務ごとに具体的な手順を定めています。その上で、全ての部門・事業所において実施している内部統制の月次点検や年1回の監査を通じてチェックを行い、適宜改善を図っています。

パルシステム埼玉の広報



機関誌『あすーる』

組合員とパルシステム埼玉をつなぐ月刊誌として、組合員に今伝えたいことを編集会議で決定し、作成しています。



情報紙『あすーるポケット』

パルシステム埼玉、組合員、その他の団体が運営する企画について参加を呼びかけるために発行しています。



ホームページ

事業や組合員活動の報告、あすーるポケットのイベント情報など最新情報を発信しています。

パルシステムの取り組み

10のパルシステムが力を合わせ、関東近郊の1都12県の生活を支えます。



パルシステムは、1都12県にある10の生協で構成されるグループです。「安全で安心な商品」を「ご自宅までお届け」する供給事業を中心に、健康、環境などの分野で組合員のくらしを支えます。

パルシステム生活協同組合連合会

pal*system



パルシステム生活協同組合連合会とは

パルシステム生活協同組合連合会は、首都圏を中心とした生協で構成する連合会組織でパルシステム埼玉もその会員生協です。パルシステムグループ（会員生協と子会社）は、食を中心とした商品の供給事業や共済・保険事業、福祉事業などを展開しています。



- 1951 蕨生協としてスタート
- 1971 再建総会
- 1975 南埼玉生活協同組合わかばと改称
- 1977 首都圏コープ事業連合(現在のパルシステム連合会)に参加
- 1984 さきたまグリーン生協設立
- 1992 わかば生協、個別宅配事業開始
- 1994 わかば生協とさきたまグリーン生協が合併し、ドゥコープとしてスタート
- 1996 ソーラー電池照明、LPG 車の導入
- 1997 BMW システムによる中水施設を建設
いきいきネットワーク(家事援助活動)がスタート
- 1998 屋上緑化など環境に配慮したセンターとして白岡センター移転新築
- 1999 「パルシステム埼玉市民活動支援金」を開始
- 2000 ISO14001 の認証取得
韓国「プルンドゥレ生活協同組合」(仁川市)との「日韓子ども交流」を開始
- 2001 所沢センターを三芳町に移転し、三芳センターに改称
- 2006 雨水利用設備や託児所などを備えた草加センターを新たに開所
- 2008 食料自給率向上に向け「パルシステム 100 万人の食づくり」運動スタート
- 2009 太陽光発電システムを導入した川越センターを新たに開所
- 2011 埼玉県勤労者生活協同組合からパルシステム事業を譲受、パルシステム埼玉に名称変更
パルシステム埼玉蕨センターを建替え(太陽光発電、BMW システムを導入)
- 2012 パルシステムサービスセンター(略称:PSC)で組合員の声の一元管理スタート
- 2015 「パルシステム埼玉東日本大震災復興支援助成金」を開始
- 2016 組合員活動施設「ばる★てらす」がオープン
発電事業を担う(株)パルシステム発電を設立
- 2018 消費生活協同組合制定 70 周年記念 厚生労働大臣表彰を受賞
障害者雇用優良事業所及び高齢者雇用優良事業所を対象とした埼玉県知事表彰を受賞
- 2019 埼玉県内企業初となる「ウッドスタート宣言」を締結
ホームページをリニューアルし、スマートフォン対応に変更
- 2020 東松山センターが移設し、熊谷センターが稼働を開始
消費者支援功労者表彰(ベストサポーター章)を受章
埼玉県多様な働き方実践企業に認定
埼玉県健康経営実践事業所に認定
- 2021 「貧困・医療支援積立金」総額 300 万円で 5 団体を支援